

1. 第3期宍粟市地域福祉計画施策検証シート

整理番号	頁	活動指標	質疑意見	回答	担当課
①	2	(3)認知症サポーター養成講座受講者数 (4)認知症サポーター登録者数	サポーター登録者の支援について把握するためステップアップ講座等定期的に研修会を実施し、活動状況を把握することにより、継続的な支援につなげると考えられる。	令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大に伴い認知症サポーター養成講座の開催が中止や延期となり、ステップアップ講座についても開催できていない状況でした。令和4年度につきましては、キャラバン・メイト連絡会で内容を検討し、多様な方法で講座の開催を計画しております。引き続き、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する応援者を養成していきたいと考えております。	福祉相談課
②	3	(6)自殺対策ゲートキーパー研修受講者数 (延べ数)	ゲートキーパー研修受講者に対し、定期的継続的に研修を実施することにより、支援への理解が得られると考えられる。	自殺対策やこころの健康に関わる研修会の情報提供を行う等、自殺対策全般についてさらに理解を深めていただけるよう対応します。	保健福祉課
③	6	(11)空き家バンクの登録件数	IIの課題で登録を促す、とありますがどんな方法でされるのでしょうか。	固定資産税通知書封筒裏面に空き家バンクへの登録を促す広告を掲載し、市内外の所有者に向けた情報発信を行う他、市公式サイト・広報誌・しーたん放送で空き家バンクへの登録方法等の案内を実施しています。また、空き家バンク登録促進チラシを作成し、お盆等で帰省される方に向けて空き家に投函しています。令和4年度は、地域おこし協力隊員と協働し、空き家の勉強会を開催し、市内空き家の現況や空き家バンク登録のメリット、登録の流れ等の説明も実施しています。	住宅土地政策課

整理番号	頁	活動指標	質疑意見	回答	担当課
④	9	(18)認知症にかかる相談件数	市の健診で70～74歳の方に、チェックシートを活用し、予防健診を実施されているが、毎年継続して実施し、早期発見、早期対応につなげてほしい。一方この対象外（若年層）の方の早期発見早期対応についても早急に検討していく必要がある。	令和2年度より特定健診に来られた70～74歳の方を対象に認知症予防健診を実施しています。令和2年度は1,225名、令和3年度は1,321名の方の受診があり、要精密判定の方には保健師等が個別訪問し支援しています。また、認知症予防健診対象外の方につきましても、平常の来所相談や訪問時、健康教育等の際に認知症チェックシートを活用し必要な方へ支援しています。今後も継続していきます。	福祉相談課
⑤	11	(21)成年後見制度に関する相談件数（延べ数）	今後、支援を必要とするケースが増えてくると思いますが、対象者の把握と早期対応に取り組まれます。	重複課題の家庭、支援者のない一人暮らし等高齢者世帯の相談が増えています。高齢者の生命と財産を守り、尊厳ある生活を高齢者が安心して送れるよう、引き続き支援していきたいと考えています。これまでも、福祉専門職を対象とした研修会を行う等、権利擁護に関する理解を深める取り組みも実施しております。また、通いの場のミニ講座を通し、認知症等で判断能力が低下してから成年後見制度の相談をするのではなく、元気な間から「自分を見つめ 今をよりよく自分らしく生きる」ことの大切さを啓発しております。	福祉相談課

2.第3期宍粟市地域福祉計画＜取組内容＞

整理番号	頁	No.	基本目標	基本施策	主要な施策	質疑意見	回答	担当課
①		全体				<p>取組内容の検証シート125項目中、「計画どおり取組が出来たが83件で、66.4%、また、「目標に少し届かなかった」が29件で23.2%、合計89.6%が目標達成に近い成果に達成し、市当局においては、コロナ禍の中で大変な中、工夫しながら、頑張って取り組んでいただいている様子がよくわかりました。</p> <p>令和4年度も、3年目となりますが、コロナと共に歩み、目標達成に向けての取り組みについてよろしくをお願いします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>地域福祉計画は性質上、理念計画に近いところがあり、なかなか数値での評価が難しい面もありますが、地域共生社会の実現に向け、社会福祉協議会やまちづくり推進担当、他部局とも連携を強化しながら事業や取組を推進していきたいと考えております。</p>	健康福祉部 (社会福祉課)
②		全体				<p>令和2年度及び3年度の2年間、全く取組が出来なかった項目が11項目あり、コロナ禍の中で大変ですが、課題を克服して、福祉分野だけでなく、他分野とも適宜、連絡調整を行うなど、一体となった連携体制の下で、計画の推進をお願いします。</p>	<p>「全く取組ができなかった」項目については、コロナ禍の影響で実施できなかったもの、またそれ以外の要因で未着手のものもあります。その中でも人材育成という点がどの分野でも大きな課題の一つになっていると考えられます。また、コロナ禍により一旦中断している事業を再開するに当たっては、今まで以上の労力や気力が必要であり、難しい点も多いと考えられるため、コロナと共存しながら必要な支援や取組を推進できるよう調整を図ってまいります。</p>	健康福祉部 (社会福祉課)

2.第3期宍粟市地域福祉計画＜取組内容＞

整理番号	頁	No.	基本目標	基本施策	主要な施策	質疑意見	回答	担当課
③	1	1	1.地域福祉を進める担い手の育成	(1)福祉学習を推進・地域福祉意識の普及啓発	●【福祉に関する学習会等の開催】 市民の福祉意識向上のため、福祉に関する学習会やシンポジウム等の開催を推進します。	しそチャンネルが見れない家庭も多いのでは？	出前講座については、要望があった場合は感染予防対策をはかりながら実施していきます。講演会等についても、感染予防対策をはかりながら開催方法等を検討していきます。	健康福祉部 福祉相談課
④	5	26	2.みんなで支え合う仕組みづくり	(1)地域住民等が集う場・拠点づくり	●【健康づくり活動の支援・継続】 誰もが健康に暮らせるよう、いきいき百歳体操等、地域での介護予防や健康づくりを行う「通いの場づくり」を推進するとともに、鳥海を担う住民リーダーを支援し、活動の継続を図ります。	しそチャンネルが見れない家庭も多いのでは？	右肩上がりで広がってきた「通いの場」は、コロナ禍で転機を迎えており、多くの教室が活動の中止を余儀なくされた。現状では、徐々に活動が元に戻りつつあるが、コロナ禍前の水準には達していません。 「通いの場」は、「歩いて通う」、「心が通う」、「情報が通う」、「意識が通う」など地域づくりを推進する上で、多くの可能性を持っています。 冬季には、公民館へ行くことが難しい地域もあり、フレイル予防にも取り組んでいます。引き続き、様々な手法で「通いの場」が充実するよう、しそチャンネルやリーフレット、DVDの活用等を検討しています。	福祉相談課

2.第3期宍粟市地域福祉計画＜取組内容＞

整理番号	頁	No.	基本目標	基本施策	主要な施策	質疑意見	回答	担当課
⑤	2	10		(2)市民活動ボランティアへの参加促進	<p>●【しろう元気げんき大作戦事業】</p> <p>地域資源および地域の個性を生かした自主的・主体的なまちづくり活動や地域の課題解決に向けた市民の創意と工夫による魅力的な活動の推進を図る「しろう元気げんき大作戦事業」に取り組みます。</p>	しろう元気げんき大作戦事業としてどんなものがあるのか。	<p>○自由提案型</p> <p>①ぶくぶく宍粟：市内で活動する個人や団体が繋がるプラットフォームを構築し、HPで活動を市内外に発信する。</p> <p>②NPO法人しろう夢鉄道：鉄道模型ジオラマ交流館を開設し、まちの賑わいを創出する。</p> <p>③遊名人：旧幼稚園舎を活用し、放課後の子どもの遊び場、居場所づくりを通して、子どもたち相互のコミュニケーション能力を養い、豊かな人格形成を図る。</p> <p>○スタートアップ事業</p> <p>④YAMASAND：フリーマーケットを開催し、子どもたちが同世代とのふれあいを通してコミュニケーション力、さらに自立心を養える環境を創造する。</p>	まちづくり推進課
	4	19	1.地域福祉を進める担い手の育成	(3)地域福祉を担う人材の発掘・育成	<p>●【コミュニティビジネスの立上げ支援】</p> <p>地域の抱える課題を地域住民が主体となって、ビジネスの手法を活用しつつコミュニティビジネスの立上げを支援し、地域を担う人材育成及び地域活性化を図ります。</p>		<p>○テーマ型（情報発信）</p> <p>⑤NPO法人地域を元気にする会：市内の魅力ある人・場所・会社の情報を取材し、情報誌やHP、SNS等で紹介し、その魅力を発信する。</p> <p>○テーマ型（コミュニティビジネス）</p> <p>⑥三方地区活性化委員会：旧保育所園舎を活用し、地元食材の加工及び食堂事業を通じて地域の活性化を図る。</p> <p>⑦空き家サポートセンター：空き家等の所有者の相談窓口を開設し、宍粟市空き家バンクへの登録代行や管理受託、行政と協働による空き家所有者に対するサポート体制の確立を図る。</p> <p>⑧NPO法人More繁盛：都市部との交流イベントを通して、今後の農業支援者の確保につなげるとともに、地域資源を活かした特産品の開発により地域の活性化を図る。</p>	

2.第3期宍粟市地域福祉計画＜取組内容＞

整理番号	頁	No.	基本目標	基本施策	主要な施策	質疑意見	回答	担当課
⑥	9	41	2.みんなで支え合う仕組みづくり	(2)地域住民の見守り・支え合いの関係づくりの推進	●男女の交流イベント等の開催支援 地域に残り、将来的に地域の中で暮らす若者が増えていくように、結婚相談や男女の交流イベント等の開催を支援します。	婚活に思い切った施策（祝金30～50万円とか介入者（仲人）援助、住居がらみの助成）が必要ではないか。いつも同じようなことをしているように感じる。	<p>現在も社会福祉協議会に委託し、出会いサポートセンター事業として、結婚相談員による相談や紹介、またコロナ禍を考慮した少人数による婚活イベントを実施していただいております。また、市においてもSNS等によるマッチングなど出会いの機会を少しでも後押しできればと結婚相談所等に入会するための初期費用の一部を助成（上限5万円）するなどの取組を実施しています。</p> <p>しかし、なかなか思うように成果をだすことができず、新たな取組に向けた転換期にきていると感じております。</p> <p>ご意見をいただいておりますように、今後、空き家活用なども含め、市役所庁内においても関係部署が連携し協議を進めてまいります。</p>	社会福祉課